

・与論島の活性化のために

はじめに、与論島は鹿児島最南端に位置し沖縄から非常に近い位置にある島である。私は実際初めて与論島を訪れてみて感じたことは、サンゴ礁に囲まれた美しい島で沖縄と近いながらもこの島独特の良さがあると感じた。

しかし、私含めて感じられたのが与論島という名前（存在）は聞いたことあるがどういふ場所でなにがイベントとして行われているか分かってないということだ。ここ数年で観光としての利用客が増加しているが、まだまだ与論島の存在自体は知られていない印象がある。そこで感じたことはPR不足ではないかと思う。前述のように利用客が増えているのは利用客が SNS を通じて外に情報を発信してその周りにいる人に働きかけ、さらなる集客が出来たのだと思われる。だがそれには偏った情報もあるかもしれない、実際百合ヶ浜がメインで訪れる利用客がほとんどであると感じた。今回様々な方から観光としてのヨロン島の話聞いてみると、地元特有のお祭りや鍾乳洞、マリンスポーツなど来る前には知らないようなイベントがあることを知った。そういった情報は SNS だけでは広まりづらいのだと思われるので観光誌やテレビコマーシャルなどメディアに向けた情報発信すると百合ヶ浜だけでなく他の目的で観光に訪れる客も増えるのではないかと思う。

次の問題として、島の人口が減少している点である。島の特徴として中学や高校を卒業すると島から発ち、都会のほうで生活する人が多いのだと思う。何割かは島に残ったり、結婚する際に島に戻ったりするかもしれないがこの状態が続くとやはり人口は減少していく。観光利用客も多い沖縄と比べて面積が大きいのも考えられるが、観光客がこれから増えるにつれてやはり島の人口も多くなると活性化という点では変化していくことは難しいと感じる。島では出産に対していくらか補助が出ているが、今後は出産だけでなく、教育や学校などの補助も少なからず出せるとより定住しやすくなるのではないかと考えられる。人口、観光客共に増加させていくために両方に予算を割くのはむずかしいかもしれないが、人口が増えるとより島にお金が入り観光業にさらに力を注げることができると思う。

その次に問題となっているのが島へのアクセス面であると考え。沖縄から近いとはいえ沖縄も観光で集客しているのでヨロン島へ寄っていく利用者は多くないと思われる。また与論島でのお話であったように東京から沖縄が約 10000 円程度で行けるのに対し、与論島だと約 15000 円もかかってしまう点も挙げられる。この差は利用客からすると大きい、なので事前に夏季シーズンは予めある程度の割引を告知しておくなどするとさらに目を引くことができると思われる。またこの告知は SNS では広まりづらいと考えられるため、旅行会社などを通すなどホームページに掲載などするとさらに良いと考えられる。

利用客が増えるにつれ問題となってくるのは、宿泊施設の老朽化である。今回の集中講

義のバスでの移動でも見受けられたが、おそらく使われておらず老朽化したホテルがあった。数年前は観光客が少なく使われなくなったと思われるが一昨年から観光客が増えているのでこのままだと宿泊施設がどこも埋まっていくと考えられる。そうなると今ある老朽化した施設を改装または壊して再建築などする必要がある。与論島の財政についても知ったが予算的に課題が出る。

最後に、今回の講義を通して与論島の素敵なところをたくさん知ることができた。また観光もしたが行きたいところにすべては行くことができなかったのも次は個人的にまた来ようと思うほど良いところでした。そして感じたのがまた来たいと思うようなところだったのでリピーターが多いのではと思いました。特にマリンスポーツを嗜んでいる人にとって与論島は魅力あふれる所だと感じたのでリピーターに向けた観光案内など考えるのも今後良いのではないかと思います。この講義で与論島がより活性化出来ればいいなと感じました。